

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 2 2 2

2 0 1 1 年

9 ~ 1 0 月号

行 事 案 内

9月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 9月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 近年は9月になっても猛暑のことがありますが、鳥の世界では冬への準備が盛んです。種類は少ないかも知れませんが、まだ残っている夏鳥や移動途中の鳥との出会いに期待しましょう。
また、衣替えなどにも気をつけて観察しましょう。

解 散 正午
担 当 松田

10月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 10月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ達も帰ってきている頃でしょう。ミサゴ他のワシタカや、モズ・カワセミ他の鳥達も期待できそうです。注意して観察しましょう。

解 散 正午
担 当 佐々木

手賀沼クリーン作戦

期 日 10月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午後1時30分

案 内 手賀沼周辺のゴミを集めます。清掃場所は柏市沼南側の探鳥ポイントを中心に行います。環境保全の一助です。多数の参加をお願い致します。終了は午後3時ごろを予定しています。(軍手、ゴミ袋は事務局で用意いたします。火ばさみのある方はお持ちください。)

担 当 事務局

第11回ジャパンバードフェスティバル (JBF2011)

期 日 10月22日(土)、23日(日)
会 場 千葉県立親水広場(水の館)、我孫子市鳥の博物館、アビスタ、その他
案 内 メイン会場は親水広場です。学生、NPO団体、光学器械関係は我孫子市鳥の博物館駐車場です。当会のメインブースは鳥博駐車場になります。参加内容については以下のようになります。他のイベントについては、広報あびこの10月1日号もしくは10月16日号をご覧ください。皆様のご協力をお願いします。
担当：幹事全員と会員各位

我孫子野鳥を守る会JBF2011参加内容

- ・ブース出展(鳥博駐車場会場)
- ・パネル展示：「創立40周年記念行事関係の内容をパネル化して展示」「庭に鳥を呼ぶ=植物標本展示」
- ・紙芝居とクイズ、ぬり絵

- ・噴水前定点バードウォッチング
- ・船上バードウォッチング

JBF 設営

JBFの設営は10月21日(金)の午後から設営いたします。設営にお手伝いできる方は、午後1時30分に当会のメインテントにお集まりください。その後、各担当の場所におもむいてくださるようお願い致します。

9月幹事会案内

日時 9月11日(日) 13:30~
 場所 アビスタ2階 第2和室
 議題 1. JBFの行事及び担当者の確認
 2. 会報223号掲載記事について
 3. 報告事項
 4. その他(議題を提出の場合は事務局にご連絡ください。)

行事報告

6月手賀沼探鳥会

調査日時 2011.6.12 9:00~12:00

曇り 風無し 気温 26

浅間橋のところでヨシゴイが見られるとの情報があり、急遽足を延ばすことにしました。期待通りヨシゴイが悠々と飛んでいるのが見え、またオオバンの親子の微笑ましい姿も観察されました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、トビ、ハヤブサ、キジ、オオバン、セイタカシギ、コアジサシ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
 計 29 種 番外カワラバト

<探鳥班> 佐々木隆、肥後邦彦、村松寿夫、榎本右、栗田励、大久保陸夫、田中悟、松田幸保、野口隆也、谷山晴男、常盤孝義、吉田隆行、松本勝英、川村美恵子、川越久枝、金子幸子、田中恒雄、宮下三禮、武藤康之、類地佑子、小玉文夫、間野吉幸、西嶋昭生、金子雅幸、小林孝夫、六角昭男、植田啓介、佐藤弘美、山中浩一、船津登、野口紀子、小林博之、小坂忠久、松下勝子
 (担当) 北原建郎 参加者 35 名

<カウント班>

木村稔、田中功、猪爪敏夫、染谷迪夫

調査日時 2011.6.12 9:15~12:00

曇り 25

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	9	6	15
カワウ	11	36	47
ダイサギ	5	5	10
アオサギ	4	5	9
コブハクチョウ	29	7	36
カルガモ	2	7	9
キンクロハジロ	0	1	1
オオバン	1	2	3
セイタカシギ	3	0	3
アジサシ	0	1	1
コアジサシ	0	11	11
合計	64	81	145

7月手賀沼探鳥会

調査日時 2011.7.10 9:00~12:00

晴 南風微弱 気温 33

平年よりかなり早い梅雨明け直後の探鳥会は、スタート早々に、第2機場の前で水面から飛び上がる魚を待ち構えて空中でキャッチするサギ(大か中かの論議もあった)の名人芸を堪能し、最後の締めくくりは、

浅間橋でヨシゴイの飛翔大会を見て、熱中症になる人も出さずに無事終了しました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、チュウサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、ハヤブサ、キジ、オオバン、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 28 種

<探鳥班> 吉田隆行、肥後邦彦、田中恒雄、田中悟、西城猛、類地佑子、染谷良子、間野吉幸、桑森亮、佐々木隆、六角昭男、鈴木静治、松田幸保、松本勝英、松本葉子、野口隆也、榎本右、大矢篤、佐藤弘美、船津登、古出洋子(担当)浅井久 参加者 22 名

<カウント班> 木村稔、北原建郎、染谷迪夫
調査日時 2011.7.10 9:30 ~ 11:50

晴れ 32

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	8	3	11
カワ	20	29	49
ダイサギ	1	0	1
チュウサギ	0	1	1
コサギ	0	6	6
アオサギ	3	1	4
コブハクチョウ	26	3	29
カルガモ	1	1	2
オオバン	0	2	2
セイタカサギ	3	0	3
合計	62	46	108

笹川・印旛沼探鳥会

6月26日

「黒頭巾さん」ありがとう

小坂忠久

梅雨空の中、雨に見舞われ無いようお願いながら 13 名が 4 台の車に分乗、午前 8 時我孫子駅を出発する。

国道 6 号線より利根川水郷ラインを走り印旛沼に向かう。車中、探鳥の楽しみ方や何処でどんな鳥を見たなど、初参加の私にとつ

て大変貴重なお話を伺うことができました。

安食駅を過ぎ橋を渡ると十数羽のコサギに迎えられいよいよ目的地に到着。現地にはスコープを構えた方が多数集まっている、土手を上がり沼の葦原を見るとヨシゴイが飛び交いその数の多さに驚く。今年浅間橋で初めて見たヨシゴイがあそこにも、ここにも、双眼鏡で追いかけるのが忙しい。そんな時、幹事さんからサンカノゴイが田圃にいるとの事幹事さんのスコープを覗かせていただき、サンカノゴイの上半身がはっきり見える、首を伸ばし天を仰いでいる、10 分程して再度見ると先程と同じ姿勢で動かない、しっかり目に焼き付けておこう・・・運が良ければ見ることが出来るかも知れないと聞いていた鳥だ、今日は運が良さそう、わくわくしながら次の探鳥地へ向かう。

途中「道の駅さわら」でトイレ休憩と昼食を調達、車で 30 分程走り笹川へ。利根川の堤防からの探鳥、小鳥の囀り声が頭の中をぐるぐる廻る。幹事さんに聞くとオオヨシキリ、コヨシキリ、オオセッカ、コジュリンなどの鳴き声との事、私にはどの鳴き声がどの鳥だか判らない、囀り上手な小鳥達が集まって独唱している音楽会のような。

真っ黒な頭巾をかぶったようなコジュリンを初めて見る、この時期は私にも識別出来そう。コジュリンのピーピーッ

? というような囀り、目を閉じ神経を集中し聴く。私に絶対音感があったら囀りを譜面に表し楽しんでいただろう、この囀りを音符を使って表わしたら音の高低と長さをかなり正確に示す事ができると思う。ベートーベンの田園交響曲を思い出す、サヨナキドリの鳴き声をフルートで、ヨーロッパウズラの鳴き声をオーボエで、カッコウの鳴き声をクラリネットで描写していると聞いたが、コジュリンは声が高く早口なのでピッコロが合いそう。などと勝手に思い浮かべて楽しむ。鳴き声に地域差はあるのだろうか？ 囀りはなわばり？ 求愛？ 私には楽しんで歌っているようにしか思えないが、歌えないメスが可哀そう。堤防でお弁当を食べながら囀り声をたっぶり味わう、大変心地良いひとときでした。黒頭巾さんありがとう、感謝！感謝！！

帰りは「道の駅さわら」に集合、鳥合わせをして解散しました。

初参加で多少不安もありましたが、皆様方の温かい心づかいで大変楽しい時間を過ごす事が出来ました、ありがとうございます。この会へお誘いいただきました北原さん、幹事の皆様。車中、探鳥の楽しさをいろいろ教えて下さいました金子さん、間野さんに改めてお礼申し上げます。

【幹事報告】

印旛沼ではお目当てのサンカノゴイも、飛んでるところは見られなかったものの、田んぼの中から顔だけ出している姿は、なぜか忘れられないポーズでした。

笹川周辺ではオオセッカ、コヨシキリ、オオヨシキリ、セッカ、コジュリンの囀りを十分堪能しました。特にオオセッカは近年になく数も多くなったのではないかと思われるほど、その存在をアピールしていました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、サンカノゴイ、ヨシゴイ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、トビ、キジ、イソシギ、コアジサシ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ウグイス、オオセッカ、コヨシキリ、オオヨシキリ、セッカ、コジュリン、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 29 種 番外カワラバト

<参加者> 金子雅幸、間野吉幸、大久保陸夫、松本勝英、猪爪敏夫、金子幸子、川越久枝、小坂忠久、松下勝子、肥後邦彦、佐々木隆

(幹事) 小玉文夫、北原建郎 参加者 13 名

古賀嗣朗 歯舞沖合、苫小牧沖合等の野鳥 41 点
 野口隆也 渡良瀬遊水地、富士山、長野等の野鳥・蝌蚪の紐等 40 点
 吉田隆行 手賀沼周辺、探鳥会等の野鳥・動物等 40 点
 小玉文夫 釧路、瓢湖、金御岳の野鳥 31 点
 西巻実 インド・ケオラ、アグラ等の動植物等 33 点
 浅野利幸 西表島、石垣島、三宅島、北海道、舩倉島、台湾等の野鳥 40 点
 村上稔 モンゴル・南ゴビ、テレルジの野鳥 40 点
 大久保陸夫 台湾、裏磐梯、舩倉島等の野鳥 39 点
 池田日出男 朝日池、石垣島、西表島、孀恋村、天竜村等の野鳥 40 点
 中野久夫 多々良沼、立山、舩倉島、台湾、北新田等の野鳥 40 点
 田中功 小笠原航路、南硫黄島周辺、母島、父島等の野鳥等 40 点
 <参加者> 金子雅幸、六角昭男、浅野利幸、野口隆也、西巻実、中野久夫、村上稔、池田日出男、間野吉幸、桑森亮、大久保陸夫、北原建郎、小玉文夫、古賀嗣朗、染谷迪夫、渡辺戎、田中功、吉田隆行、佐々木隆、柴本三弘、松田幸保、天野正臣、天野睦子
 (担当) 野口隆也、吉田隆行 参加者 23 名

映 写 会

7 月 23 日

今年も映写会を水の館 3 階の研修室で開催しました。13 名の方から 471 点の写真と 1 点のビデオの発表がありました。

今年はフリーソフトを使っての映写で、野鳥名が一部表示されないケースも有り、発表者に戸惑いも見られましたが、来場された 23 名の方々は熱心に観賞し、楽しみました。

<発表者と内容、上映順>

松田幸保 ビデオ(上沼ミサゴの狩)
 柴本三弘 舩倉島、裏磐梯等の野鳥 40 点

納 涼 会

7 月 23 日

7 月初めより連日猛暑が続いていましたが、台風 6 号の影響で暑さも一服した中での納涼会です。

映写会も定刻に終わり、皆さん余裕を持って「庄や」我孫子北口店に集まりました。

久しぶりにお会いする人、初めて参加する人等、総勢 19 人があちらこちらで鳥談義に花を咲かせました。飲み放題、喋り放題の二時間はアツという間に過ぎ、盛会のうちにお開きの中締めとなりました。

<参加者> 村上稔、吉田隆行、野口隆也、松田幸保、鈴木静治、桑森亮、松本勝英、佐々木隆、間野吉幸、六角昭男、田中功、栗田勲、大久保陸夫、首藤佑吉、池田日出男、田中恒雄、柴本三弘
(担当) 染谷迪夫、北原建郎 参加者 19 名

ホタルの夕べ

7 月 31 日

<参加者> 松本勝英、松田幸保、北村章子、佐々木邦子、高澤節子、金子幸子、川越久枝、間藤恵子、石塚幸恵、木村正子、木村彩乃、武藤藍子、武藤誠、宮原睦行、宮原広子、佐藤豪、佐藤芳美、鈴木健司、鈴木由美子、池本加代子、池本滝太郎、鈴木和彦、鈴木久美子、鈴木健斗、寺井龍之介、佐藤ゆうま、佐藤ななみ、窪田いちの、佐藤理咲、菊地由紀子、菊池壺佑、菊地俊佑、牧田行子、牧田アントン、吉田喜美子、吉田みずき、小玉文夫
(担当) 木村稔、染谷迪夫 参加者 39 名
三々五々集合時間前から参加者が東我孫子駅に到着し定時には現地へ出発しました。本日、認められたヘイケボタルの数 125 頭。今日は、ややむして、少し肌寒い日だったが、ホタルの観賞にはよい日であった。これで 4 年続けて 3 桁のホタルが観察されたが、これは、去年も報告したことだが、我孫子市手賀沼課、我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージアムの会、あびこ谷津学校友の会の方々が、整備・保全を手がけてくれているたまものと感謝している。田んぼの青々とした稲の上、木立の間、草むらのかげ、湿地、ヨシ原をゆっくりと舞う点滅する幻想的な青い光は、楽しいひと時を過ごさせてくれる。参加者の皆さんは、わあ！きれい、まるでイルミネーションみたい！と感心し、喜んでいました。何時までもこの光景が続くように祈りたい。なお、この行事は、我孫子野鳥を守る会と我孫子市鳥の博物館友の会の共催で行われました。

7 月幹事会報告

日 時 7 月 10 日 (日) 午後 1 時 30 分
場 所 水の館 3 F 研修室

1. ほーほーどり 222 号記載記事について
小玉幹事が資料に沿って提案、大綱、了承された。
2. 第 1 四半期会計報告 会計担当の鈴木幹事が資料に沿って報告、了承された。
3. 創立 40 周年記念事業について
 - ・一般向け記念誌：7 つの探鳥コースを冬からはじめて春まで終了。散策ルートの地図、説明文の作成を完了。全体の 4 割終了。今後、夏・秋版・トピックスを作成。
 - ・記念データ編：34 年間のデータを区分整理し、纏めた文章のたたき台をメンバー間で精読中。8 月までには終了したい。最近 10 年間に絞った 202 種についてのデータをもとに文章を纏め中。
 - ・記念パーティ・講演会：3 月 4 日または 3 月 25 日の予定で場所は「けやきプラザ 9 階ホール」を目標に準備を進める。講演会とパーティはセットで実施し、講演会は山階鳥研副所長に依頼で調整中。
 - ・記念発表会：「けやきプラザ第 2 ギャラリー」を会場とする方向。実施機関は 3 月中の 1 週間。発表、展示する写真は会の行事関係をメインとし、サブとしてそれ以外のものを検討中。1984 年以降の写真 348 点集まっている。今後のスケジュールを作成の上、煮詰める。
4. JBF の参加内容と担当
事務局染谷が資料に沿って出展計画、業務案を説明、検討の結果次のとおり確認。出展内容は昨年をほぼ踏襲し、ブースではパネル展示 (40 周年記念行事関係の企画内から展示し、記念行事の予告的な扱いとする。) 又庭に鳥を呼ぶコーナーでは鳥の食べる実などの植物標本を展示する。さらに紙芝居、ぬり絵などを企画する。外に、噴水前定点バードウォッチング、船上バードウォッチングを計画、実施する。
5. 報告事項
 - ・JBF 実行委員会：船上バードウォッチングは 2 日間で 6 便 (1 日目 3 便、2 日

目3便) 料金は無料。フォトコンテストは今年も実施、アピスタイベントとして、上野動物園園長の講演、鳥学講座、フォトコンテスト講演会などを行う。

- ・美手連：亀成川を愛する会が新規入会、手賀沼流域フォーラムの事業計画(手賀沼のハスをボートで視察、堂本前千葉県知事の講演会開催)企画有り。
- ・手賀沼学会：当会として魚を食べる水鳥の写真と増減推移、それらの鳥と手賀沼との関係をパネル展示。
- ・市民活動フェア in あびこ 2011: 6月18~19日(土・日)アピスタにて開催、86団体参加、当会は環境分科会に属してパネル展示。主催者公表で2300名が来場。実行委員長を間野会長、環境分科会代表を松本幹事が担当した。

【募集】

JBF紙芝居朗読スタッフを急募

今年は「カラスさんのお話」です。特に子供たちの参加を期待しています。会員の子供、お孫さんたちの中で、朗読

や、お芝居に興味のある方は是非参加してください。1回でも半日でも結構です。応募は事務局まで。

【報告】

- ・「市民活動フェア in あびこ 2011」が6月18日、19日にアピスタ他で開催されました。当会は手賀沼周辺の身近な鳥をテーマに「パネル展示」で参加しました。当会所属の環境分科会は14団体が参加し、工芸工作室を拠点にエコビゴ大会を4回開催して好評でした。中央学院高校生物部による若い世代の参加もあり、分科会としてまとまりがあったとの評価を得ました。(浅井、佐々木)
- ・「第8回手賀沼学会大会」が、7月16日(土)13:00から中央学院大学で開催されました。我孫子野鳥を守る会ではパネル展示で40年近く蓄積した資料を基に「手賀沼で魚などを食べる水鳥の動向を」発表しました。(宮下)

鳥 だ よ り

- | | |
|---|---|
| 05.21 [北新田] コシヤ(1) 休耕畑で囀り
中野久夫 | にとまり鳴きあう
鈴木静治 |
| 05.23 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫 | 05.29 [布佐] ツミ(1) ポプラの枝で獲物を
食べる
鈴木静治 |
| 05.24 [布佐平和台] ヒ(1) 住宅の上空を
飛ぶ
鈴木静治 | 05.29 [布佐] ツミ(2) 鳴きあう
鈴木静治 |
| 05.24 [布佐平和台] チウヤクヤ(3) 鳴きなが
ら上空を飛ぶ
鈴木静治 | 05.31 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫 |
| 05.25 [中峠] コシヤ(3) 枯れた葦の先で囀
る
鈴木静治 | 06.01 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫 |
| 05.25 [中峠] ホトギス(1) 鳴き声が聞こえ
る
鈴木静治 | 06.01 [中峠] コシヤ(5) 葦の繁み、穂先で
囀る
鈴木静治 |
| 05.25 [中峠] コシヤ(3) 枯れた葦の先で囀
る
鈴木静治 | 06.01 [中峠] ホトギス(1) 河原の繁みで鳴
く
鈴木静治 |
| 05.25 [古戸] キョウヨシギ(3) 鳴きながら飛
ぶ
鈴木静治 | 06.03 [江蔵地] ノリ(1) 通樋の構造物上よ
り飛ぶ
鈴木静治 |
| 05.27 [手賀新田] ヨコイ(3) 飛んで中州の
繁みに入る
鈴木静治 | 06.03 [千間橋] ハブサ(2) 高圧鉄塔上で幼
鳥が成鳥と鳴きあう
鈴木静治 |
| 05.28 [布佐] ツミ(2) 公園のポプラの高枝 | 06.03 [中峠] コシヤ(2) 葦の若芽、枯れ枝
で囀る
鈴木静治 |
| | 06.03 [中峠] ヒ(1) 河原上空を飛ぶ
鈴木静治 |

- 06.03 [中峠] フョウゲンボウ(1) 停飛しながら飛ぶ 鈴木静治
- 06.03 [東中新宿] ホトギス(1) 2:00、夜中、自宅上空を鳴きながら通過 飯泉久美子
- 06.05 [中峠] コソバ(1) 葦の枯れ枝にとまる 鈴木静治
- 06.07 [岡発戸新田] ホトギス(1) 鳴きながら飛翔 松田幸保
- 06.08 [江蔵地] ノリ(1) カラスに絡まれ、大樹に逃げ込む 鈴木静治
- 06.08 [古戸] フョウゲンボウ(1) 堤防の標識にとまる 鈴木静治
- 06.12 [手賀沼] ヒ(1) 下沼
染谷迪夫・木村稔・猪爪敏夫・田中功
- 06.12 [手賀沼] セイカギ(3) 上沼
染谷迪夫・木村稔・猪爪敏夫・田中功
- 06.13 [柏] フョウゲンボウ(2) 15:45、東方向からビルディング換気口に飛来 飯泉仁
- 06.13 [柏] フョウゲンボウ(3) 16:05、成鳥2、幼鳥1羽が出現し、成鳥がカラスを追い払い、幼鳥は排気口に入った 飯泉仁
- 06.13 [柏] フョウゲンボウ(3) 16:12、6階建てビルの上空を旋回 飯泉仁
- 06.14 [中峠] コソバ(1) 葦の若芽にとまり囀る 鈴木静治
- 06.14 [中峠] カッコ(1) ゴルフ場の樹木で鳴く 鈴木静治
- 06.14 [中峠] フョウゲンボウ(2) 堤防上で停飛し餌を探す 鈴木静治
- 06.14 [中峠] ホトギス(1) 鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 06.14 [古戸] フョウゲンボウ(1) 堤防上で停飛し餌を探す 鈴木静治
- 06.15 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
- 06.15 [北新田] ホトギス(1) 斜面林で鳴き声 中野久夫
- 06.17 [北新田] カッコ(2) 越流堤横柳上 中野久夫
- 06.20 [北新田] カッコ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 06.25 [布佐] ツミ(1) 電柱にとまり周りを見渡す 鈴木静治
- 06.27 [江蔵地] ヒ(1) 水田上でカラスの追跡にあう 鈴木静治
- 06.27 [北新田] カッコ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 06.27 [中峠] ヒ(1) 水田の畔で採餌 鈴木静治
- 06.27 [布佐] ツミ(1) 電線にとまり周りを見渡す 鈴木静治
- 06.27 [古戸、中峠] フョウゲンボウ(3) 停飛し、河原で獲物を狙う 鈴木静治
- 06.28 [布佐] ツミ(4) 雄：高木で見張、雌：枝の幼鳥2羽に餌を運ぶ 鈴木静治
- 06.29 [東中新宿] ホトギス(1) 4:20、自宅周辺を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 06.29 [東中新宿] ホトギス(1) 5:30、自宅周辺を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 06.29 [布佐] ツミ(2) 雌：木の枝で幼鳥に獲物を渡す 鈴木静治
- 06.30 [江蔵地] ヒ(1) 水田上を飛ぶ 鈴木静治
- 06.30 [江蔵地] ノリ(1) 水樋の柵より飛び立つ 鈴木静治
- 06.30 [江蔵地] フョウゲンボウ(1) 草原・土原で休む 鈴木静治
- 06.30 [北新田] カッコ(1) 河原の木の上で鳴く 鈴木静治
- 06.30 [北新田] カッコ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 06.30 [つくし野] ホトギス(1) 朝4時ごろ鳴きながら飛翔 中野久夫
- 06.30 [中峠] フョウゲンボウ(2) 芝生上で休む 鈴木静治
- 06.30 [東中新宿] ホトギス(1) 7:11、自宅上空を鳴きながら通過 飯泉仁・飯泉久美子
- 06.30 [古戸] ヒ(1) 河原上を飛ぶ 鈴木静治
- 07.01 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
- 07.02 [布佐] ツミ(3) 幼鳥と親鳥が鳴きあう 鈴木静治
- 07.10 [手賀沼] セイカギ(3) 上沼
染谷迪夫・木村稔・北原建郎
- 07.12 [発作] フョウゲンボウ(1) 高圧線鉄塔上にとまる 鈴木静治
- 07.13 [柏] フョウゲンボウ(5) 8:08~8:20、超高層マンション最上階上空を3羽が旋回し、幼鳥2羽は6階建て店舗の通気口と窓枠で鳴いていた 飯泉仁

- 07.13 [北新田] フォウゲンボウ(1) 電柱から飛去
中野久夫
- 07.14 [北新田] ヲサヅ(1) 越流堤池から飛立ち
中野久夫
- 07.14 [岡発戸新田] ヒ(2) 鳴きながら上空高く輪を描いて飛ぶ
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸
- 07.15 [北新田] ヲサヅ(1) 越流堤池から飛立ち
中野久夫
- 07.17 [東中新宿] ツミ(1) 16:25、鳴きながら移動していた
飯泉久美子
- 07.17 [南柏] フォウゲンボウ(1) 8:40~8:50、駅前商店街の一角から出現し、北方向に移動
飯泉仁

- 07.19 [下沼田] フォウゲンボウ(1) 電柱上から農道に舞い降りる
鈴木静治
- 07.19 [千間橋] フォウゲンボウ(1) 道路標識上にとまる
鈴木静治
- 07.20 [千間橋] ハヤブサ(1) 高圧線鉄塔中腹にとまる
鈴木静治
- 07.20 [浅間前] オオカ(1) 電柱上にとまる
鈴木静治

今回寄せられた鳥の全種名

<山野の鳥>

イワツバメ、ウグイス、エナガ、オオタカ、オナガ、カッコウ、カワラヒワ、キジ、キジバト、コゲラ、コヨシキリ、シジュウカラ、スズメ、セッカ、チョウゲンボウ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、フクロウ、ホオジロ、ホトトギス、ムクドリ、メジロ、モズ
計 28 種

<水辺の鳥>

アオサギ、アジサシ、アマサギ、イソシギ、オオバン、オオヨシキリ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カンムリカイツブリ、キアシシギ、キョウジョシギ、キンクロハジロ、クサシギ、コアジサシ、ゴイサギ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、セイタカシギ、ダイサギ、チュウサギ、チュウシャクシギ、ハクセキレイ、ハヤブサ、バン、マガモ、ヨシゴイ

計 29 種
合計 57 種

<番外種>

アイガモ、アヒル、カワラバト、コジュケイ、バリケン、ワカケホンセイインコ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	2
飯泉仁	403
飯泉仁・飯泉久美子	106
鈴木静治	104
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸	31
染谷迪夫・木村稔・猪爪敏夫・田中功	12
染谷迪夫・木村稔・北原建郎	10
中野久夫	38
松田幸保	2
間野吉幸	7
総計	715

(浅井久)

40周年記念事業関連のお知らせ

40周年記念誌（一般向）散歩コース観察会のご案内

各散歩コースと観察予定日時・集合場所等は次の通りです（今回で最終になります）。お近くにお住まいの方、鳥の好む「草木」に興味ある方、大歓迎です。尚、観察予定日は天候等の事情で変更の場合がありますので、参加ご希望の方は事前に下記世話役までご連絡ください。

	散歩観察コース	散歩観察日	集合時間	集合場所
G1	手賀沼公園～手賀大橋	9月3日（土）	14:00	アピスタ正面玄関前
	手賀大橋～滝下不動前	10月1日（土）	14:00	手賀大橋袂の漁協前
	あけぼの山周辺	9月10日（土） 10月8日（土）	14:00	柏市農業公園の駐車場
G2	手賀の丘公園・染井入落（並びに）北柏ふるさと公園～ヒドリ橋	9月5日（月）	9:00	手賀丘公園どんぐりの家
		10月3日（月）		北柏ふるさと公園駐車場
G3	岡発戸・都部の谷津田	10月20日（木）	9:00	成田線東我孫子駅前広場
	浅間橋周辺	9月15日（木）	9:00	浅間橋

10月の全体メンバー会議は10月9日（日）15:30～けやきプラザ10階A会議室にて開催する予定です。

世話役

G1 グループ 佐々木隆 電話 080 - 5507 - 5343

G2 グループ 野口隆也 電話 04 - 7163 - 7898：松下勝子 電話 04 - 7191 - 4438

G3 グループ 鈴木静治 電話 04 - 7169 - 4191

40周年記念発表会の写真について

先の会報にて写真を募集しておりました40周年記念発表会（「守る会の活動展」）には多くの写真が集まりました。探鳥会や芋煮会、JBF等の集合写真やスナップ写真です。楽しい、懐かしい展示になりそうです。

この発表会は会員以外の一般の方にも公開して、当会についての理解を深めてもらいたいと考えています。

もし皆様の中で自分の写っている写真を公開されたくないと思われる方は申し出て下さい。申し出られた方については、可能な限り個人が特定できない様に致します。尚、申し出は準備の都合上平成23年10月31日迄にお願いします。

申し出先 吉田隆行宛

住所 277-0005 柏市柏1327-6

会 員 便 り (ab-yacho より)

【北新田】

- ・カッコウは利根川河川敷で鳴いていました。カッコウの今年の初認は5月23日で遅く、数も少ないようで声を聞かない日が多いです。
- ・ホトトギスは北新田の南西側斜面林で鳴いていました。 (2011.06.15 中野久夫)
- ・5月14日以降見られなくなっていたクサシギが、昨日(14日)からまた見られるようになりました。
- ・カッコウの声7月2日以降聞かれなくなりました。いなくなったのでしょうか？ 昨年の終認は7月13日でした。
- ・オオヨシキリの囀り「ギョギョシ」の音が少なくなり、あと2・3日で聞かれなくなりそうです。 (2011.07.15 中野久夫)

【魚をキャッチするサギ】

10日の手賀沼定例探鳥会で、北千葉千葉導水路第2機場にいたチュウサギ(?)が飛び上がる魚を空中でキャッチするシーンを参加者の半数が目撃したと思います。昨日10時過ぎに行った時には、居ませんでした。今日は9時に行って待っていたら、9時15分に沼から飛んできて10日と同じ場所でスタンバイしました。最初のうちは魚はあまり跳ねませんが、10時頃からよく跳ねるようになってからは盛んにキャッチを繰り返し、11時頃に沼に帰るまで10匹ぐらい食べたと思います。早業に感心したのと、食べられた魚が首のなかで暴れているのが印象的でした。川の堰で跳ねる魚を待ち伏せしているサギの光景を見ますが、機場のあの場所も魚にとっては堰なのかも知れませんね。 (2011.07.12 松田幸保)

その後も魚をキャッチするサギに3回ほど通いました。魚があまり跳ねなくなったら次第に長居しなくなり、今日は機場側に降りませんでした。代わりにカワウがずっと魚を獲っていました。餌を歩いて探すか、待ち伏せして獲るかの選択のようですね！ 溪流で長時間待つて大きな魚を獲ったアオサギを見て感心したことがあります、こっちはヤマセミを待っていたのですが。 (2011.07.16 松田幸保)

【浅間橋】

酷暑、台風等不順な日が続いていますが、浅間橋周辺ではヨシゴイの数も増え、1kmに亘る中州でほぼ全域で観察できるようになっています。川の水面すれすれにとぶもの、忍者よろしくマコモ、ヒメガマにとまるもの、更に水田で餌獲りし中州にはいるものも多くなりました。中州のマコモ、ヒメガマの中をスコープで見ると、ここ2週間前より未だ飛べない一部うぶ毛の残る幼鳥が観察できるようになりました。親が餌を運んでくると、鳴き叫びます。最近はおオバン、バンは殆ど見られませんが、カンムリカイツブリが水面を悠々と泳いでいるのを観察できることがあります。早朝の観察もよいのですが、涼しい風の通る夕陽をみながらの観察もお勧めです。ゴイサギが鳴きながら上空を飛びます。 (2011.07.20 鈴木静治)

台風後、少し過ごしやすい日になっていますが、浅間橋周辺ではヨシゴイの幼鳥は大部分は中州の蒲・葦・マコモの茂みで忍者よろしく潜んでいます。少しずつ飛び始めるものが出てきています。親鳥は幼鳥に与える餌獲りに中州より水田へ頻繁に出かけています。また、

中州・水田には、アマサギ、チュウサギ、ゴイサギ・ダイサギ、アオサギ、コチドリ、カルガモの幼鳥、カイツブリの親子、オオバンの幼鳥等が見られるようになってきました。サギ類、水鳥の幼鳥の観察に是非とも、一度足を運んでください。

(2011.07.30 鈴木静治)

【今夏のツバメ】

今夏はツバメの姿が少ないと思いますがいかがでしょうか。(感覚的なもので、正確にカウントしたわけではありませんが)気がつく私の住居の庭や近辺で蚊が極端に減っていますね。蚊が少ない---ツバメの餌が減る---、ツバメが他所に移動する等、と勝手な推理をしています。基の原因は放射能汚染でしょうか?くわばら、くわばら。

(2011.07.21 首藤佑吉)

ツバメを見かけることが少なくなった、との感想を私も聞いたことがあります。個人的には、10年以上前に比べれば、そう謂われてみると、昔はもっと居たと思うが、といった非定量的な個人的な印象感想は、私も持っています。全国的にも、ツバメの飛来生息観察場所(全国を細かくメッシュ分けして記録報告)は、明らかに減っているようだ、という報告があります。「ツバメかんさつ全国ネットワーク」というウェブサイト(NPO法人バードリサーチが管理運営)はなかなかよく出来たツバメに関するサイトですが、これによると、「環境省が1970年代後半と2000年前後に行った鳥類繁殖分布調査によると、ツバメの分布域はやや減少しているようです。はっきりした原因は分かりませんが、エサ場になる水田が減ったことや、住宅の構造が巣を作りにくい形に変わってきていることなどが原因ではないかと推測されています。」と述べており、分布図も添付されています。一度覗いて見られては如何でしょうか。

(2011.07.21 田中功)

私も同様、極端にツバメの数は減っているように思います。今朝も5時起きして散歩している最中、湖北の田んぼで確認できたツバメは往復で各1羽だけでした。淋しい限りです。従来は歩く私の周辺を飛び回ってくれ、夏の訪れを感じさせてくれました。一方、9日に山中湖へ行ったとき、隣のホテルの壁面に、約30羽のツバメの幼鳥が集団で親鳥から餌をもらっていました。居るところには居るものだとホッとさせられました。できるなら、以前と同じようにツバメが私や家の周りを飛び回るよう願っております。

(2011.07.22 大久保陸夫)

< 会員の活動寄稿 >

鳥の紙芝居 老人ホームで大好評!

この度、私の属しているボランティア団体の老人ホーム慰問活動の一環として、例年JBFで当会ブースの人気出し物として上演されている紙芝居を老人ホームで上演したところ、大変好評でしたので、お礼かたがたご報告申し上げます。

7月13日、東京杉並の「永福ふれあいの家」において40人余りの入所者の皆さんを前に「手賀沼の鳥さんたち」と「手賀沼の力

ラスさん」をご覧いただきました。

当日は草花のお話やフクロウのお話、手品、詩の朗読、唱歌合唱などに加えて紙芝居を上演しました。ご覧になった方からは紙芝居が特に良かったとのご感想をいただきました。物語の構成や「絵」が非常によくできていて、お年寄りにもよくわかっていただけたようです。

今後とも機会がありましたらまた上演したいと思っています。有難うございました。

(六角 昭男)

手賀沼流域フォーラム全大会開催
のお知らせ

< 寄付のお礼 >

山野辺伸作さんよりご寄付を頂きました。
厚く御礼申し上げます。

(会計 鈴木静治)

< お詫びと訂正 >

ほーほーどり 221 号の新入会員紹介で、
村松洋子さんと村松直道さんのお名前が
間違っていました。

正しくは、松村洋子さん、松村直道さんで
す。訂正してお詫びいたします。

(事務局 染谷迪夫)

* 堂本暁子さん (前千葉県知事) の講演 *

日時 10月15日(土) 13:00~16:00

場所 手賀沼親水広場水の館 研修室

講演テーマ 災害と生物多様性について

プログラム

- ・地域企画発表
- ・堂本さんの講演・質疑応答
- ・手水協の環境学習DVD上映
- ・堂本さん製作のCOP10に向けた生物多様性DVD上映
- ・パネル展示(各地域企画報告)

* 別途、広報などでご案内があります。

(間野吉幸)

会員の皆様へ！ 新会員の募集・紹介のお願い(一部再掲)

当会はお陰様で、今年の3月31日現在で普通会員152名、家族会員54名、合計206名になりました。来年の3月にはいよいよ40周年を迎えることとなります。今年から来年にかけて楽しい行事がメジロ押しです。そこでこの機会に会員の皆様にお願ひがあります。ぜひお近くの方やお知り合いの方に、下記の当会活動紹介を参考に、皆様のご体験を加味されて入会のお勧めを頂ければ幸いです。

「我孫子野鳥を守る会」の活動紹介

当会は1972年に設立された千葉県で最初の野鳥愛好団体です。

自然のなかの野鳥を楽しみ、野鳥を愛するところを育てるとともに、野鳥を通じて自然保護に努め、人と鳥が共存する環境づくりを行い、あわせて会員の親睦を図ることを目的としています。

活動 定例探鳥会 毎月第2日曜日 我孫子市役所前9時集合

遠出探鳥会 遠隔の探鳥地を日帰り、又は一泊で訪れます。

探鳥などの調査研究、野鳥を中心とする自然保護に必要な諸活動

会報「ほーほーどり」の発行、会員の親睦行事その他

ほーほーどり No.222 (2011年9~10月号)

発行 2011年9月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel:04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)